

事務事業名		病害虫防除事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																								
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																								
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興																										
	基本事業名	02 農業経営の安定支援		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S27 年度～) ☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 02 19 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																								
所属	部課名	農林水産部農林課																										
	課長名	菅原 博幸																										
	係名	農政係	電話	27-3111																								
	担当者	金野 全彰	内線	7123																								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・植物防疫事業の円滑且つ的確な運営を図ることを目的に、各市町村毎に病害虫防除員を置き、効率的に病害虫を防除するため、岩手県病害虫防除所及び関係機関と連携を密にしながら、病害虫防除に関する情報交換やイモチ病など病害虫発生状況の迅速な把握に努め、適宜防除指導を行う。 ・主な業務は、①岩手県病害虫防除所長から市職員へ病害虫防除員の委嘱、②病害虫発生時期に農協職員や農業改良普及センター職員と水田におもむき状況把握、報告(普及センター)、③情報交換のための岩手県病害虫防除所主催の会議出席である。 ・事業費は、気仙地方水稲病害虫防除協議会への負担金として支出される。																												
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		事業費計(A)		0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																										
		都道府県支出金																										
		地方債																										
		その他																										
	事業費計(A)		0																									
	人件費	正規職員従事人数																										
		延べ業務時間																										
人件費計(B)		0																										
トータルコスト(A)+(B)		0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

- ・気仙地方水稲病害虫防除協議会へ負担金の納入。
- ・市町村水稲病害虫防除計画及び実績の取りまとめと県病害虫防除所への報告。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

- ・市町村防除計画の策定、地域の発生状況の取りまとめ、防除体制整備。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・市内の水田農家
- ・市内の水田

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・病害虫の発生情報や病害虫の防除指導を行うことによって、水田農家の意識が高まり、水田での病害虫の発生が少なくなる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安定して高く売れる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 水稲病害虫発生状況調査回数	回
イ 生育状況調査回数	回
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 水田農家数	人
キ 水稲作付面積	ha
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 水稲病害虫防除指導会	回
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円					
			都道府県支出金	千 円					
			地方債	千 円					
			その他	千 円					
			一般財源	千 円	10	10	10	10	10
			事業費計 (A)	千 円	10	10	10	10	10
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時 間	40	40	40	40	40
			人件費計 (B)	千 円	160	160	160	160	160
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	170	170	170	170	170
⑤活動指標	ア	回	2	2	2	2	2		
	イ	回	2	2	2	2	2		
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	1020	1020	1000	1020	1020		
	キ	ha	120	120	115	120	120		
	ク								
⑦成果指標	サ	回	2	2	2	2	2		
	シ								
	ス								

事務事業ID	0539	事務事業名	病害虫防除事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき制定された岩手県病害虫防除員設置規程により、市町村に1人の病害虫防除員を置くこととされており、岩手県病害虫防除所より防除員として委嘱されている。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・水稻の生育に関しては、気候が大きく左右されるため、年により病害虫の発生状況は異なるが、関係機関との連携により適切な防除指導ができていると思われる。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

・消費者側からは「安全・安心な農産物」を求める声が大きくなってきており、農薬の適正な使用についての更なる指導が求められている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 病害虫防除活動は、農業経営の安定化につながり、その結果農林業の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 岩手県病害虫防除所より当市には1名の防除員の設置を求められており、市の農業の振興・安定化のために必要な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市内の水田農家に対し、病害虫防除のための適切な指導を行うための事業であり、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業継続により、成果の維持が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 防除指導に支障をきたし、農業経営の安定化に影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など） 事業費は気仙地方水稻病害虫防除協議会への負担金のみであり、これ以上削減の余地はない。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど） 防除員の推薦や防除実績の取りまとめ等、業務所要時間は適切かつ最低限であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業費は発生しないので、受益者に負担を求めることはできない。

3 今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善（縮小・統合含む） ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。